

WEEKLY REPORT

事務局：460-0003

■名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

T E L : 052-211-3803

F A X : 052-211-2623

M A I L : 2760@nagoya@mizuho-rc.jp

U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)11月10日

会長：森 裕之

幹事：村上 学

クラブ広報委員長：渡邊 将之

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2026-27年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーで素晴らしい体験をしよう、そしてより強いより良いロータリーをつくらう」

2026-27年度

国際ロータリーのテーマ

持続可能なインパクトを生み出そう

第2187回例会

～地域社会の経済発展月間／米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2026年10月8日(木) 晴 第11回

司 会：横山 敦信 会場委員
斉 唱：「我等の生業」
卓 話：名古屋瑞穂RC会員 花井 芳太朗さん 生川 昌樹さん

会長挨拶

森 裕之 会長

皆さん、こんにちは。先日は補助金事業の、ひばり荘パーティーに会員みなさんにご参加いただきありがとうございました。ひばり荘の子供たちにも、大変喜んでいただき「来年も楽しみにしています、待ち遠いです」と言われましたので、社会奉仕委員会の皆さんと一緒に引き続き頑張っていきたいと思っております。

アジア大会も終了しましたが、皆さん観戦にはいかれましたか？栄のメダリストランウェー(16日間で36万三千人!)など盛り上がっていました。残念ながら私は直接観戦はできませんでしたが、アジ・バラに賭けたいと思っております。

さて、みなさん「HIMARI」という名前を聞かれたことがありますか？今15歳の日本人の少女ヴァイオリニストが世界的な注目を集めています。その名を吉村妃鞠(ひまり)さんといい、2011年生まれ、東京出身の少女です。ちなみに父親の吉村龍太さんは著名な作曲家、音楽プロデューサー、シンセサイザー演奏家の方です。母親はヴァイオリニストの吉田恭子さんで、HIMARIさんは慶應義塾幼稚舎を小学5年生の時に休学・渡米し、アメリカの名門音楽大学であるフィラデルフィアのカーティス音楽院に史上最年少の10歳で合格・入学し、現在も在籍して学んでいます。

2歳半でヴァイオリンに触れ始め、祖母が持ってきた母の子供時代のヴァイオリンをおもちゃのように遊びながら弾き、3歳の頃には母のヴァイオリンの練習をまねて演奏するようになり、自分で「オムライス」「冷蔵庫」という曲を即興で作曲し演奏されたそうです。そのころから正式にヴァイオリンの稽古を始め、3ヶ月目にはバッハを弾きました。4歳の頃からコンクールに出場するようになり、6歳でプロオーケストラと共演、7歳で著名な国際コンクールで優勝、10歳で世界的なジュニア・コンクールでグランプリ獲得、現在までに42のコンクールで一位を獲得、海外で演奏会を重ね、2025年には13歳で世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニーと、難曲で知られるヴェニヤフスキのヴァイオリン協奏曲を演奏、数日の公演を重ねその完璧な技巧と、高い音楽性、豊かな表現力・芸術性で高い評価を得ました。

その後数々の世界的オーケストラと共演を重ね、「神童・天才」というだけでなく、すでに「一流の音楽家たちと共演して、演奏家・音楽家として活躍する」ヴァイオリニストに着実に成長しています。現在までに共演を重ねた世界的オーケストラは、フィラデルフィア管弦楽団、シカゴ交響楽団、ロンドン・フィル、スイス・ロマンダ管弦楽団、NHK交響楽団など私でも知っている錚々たる名前が並びます。

また昨年から今年にかけNHKでも、彼女の演奏する姿が度々放映され、それをご覧になられた方も多いのではないかと思います。私も昨年の7月、スイス・ロマンダ管弦楽団と共演したステージを聴きに行き、大変な感銘を受けました。まさしく「天才少女」の名にふさわしい演奏でした。現在は演奏技術が完璧なのは言うまでもなく、音楽表現も非常に豊かな高みに到達していると評価され、「神童HIMARI」から「世界的ヴァイオリニストHIMARI」へと成長するのを期待されております。

ところで著名なヴァイオリニストの多くは、18世紀にイタリアで製作された「ストラディヴァリウス」と「ガッルネリ・デル・ジェス」を使って演奏しますが、一台が数億円もする非常に高価な楽器ですので、多くの演奏家が様々な団体やバトロンから貸与をうけております。HIMARIさんの現在のヴァイオリンは「ガッルネリ・デル・ジェス・Forni(フェルニ)」ですが、以前は「ストラディヴァリウスHamma(ハンマ)」でこれは大金持ちの前澤友作氏が6億円で購入したものを貸与されていたそうです。

さて彼女の日本公演も、2023年から国内各地で数々開かれておりますが、毎回SOLDOUTであり、プラチナペーパーとなっております。今年の12月から日本のリサイタル・ツアーが開かれますが、全公演即時完売でありました。ダイヤモンド・ペーパーとなっております。いずれにせよ彼女がどんな芸術家になっていくかを、これからのささやかな楽しみにしたいと思います。



出席報告

小木曾仁 出席委員

会員73名 出席56名(出席計算人数60名)

出席率 78.87%

ニコボックス

小木曾仁 ニコボックス委員

- ・松波会長並びに新旧会長副会長、慰労会、壮行会大変お世話になりました。ありがとうございました。 亀井 直人さん
- ・関谷さん土曜日にはお世話になりました。ありがとうございました。 また、同日松波さんはじめた皆さんの皆様に激励いただき感謝いたします。 お世話になりました。 湯澤 勇生さん
- ・妻の誕生日に、お花をありがとうございました。 森 裕之さん
- ・大和さんに変なお世話になりました。有難うございました。野崎 洋二さん
- ・新旧会長副会長幹事お世話に成りました。慰労会並びに壮行会お疲れ様でした。 渡辺 喜代彦さん
- ・先日、関谷さんにお世話になりました。レジェンドと色々なお話ができ、貴重な経験をさせていただきました。 鈴木 淑久さん
- ・先日は関谷さんに変、お世話になり有難うございました。 杉江 建亮さん
- ・花井さん 生川さん 熊本ボランティア おつかれさまでした 福岡 逸人さん 本多 誠之さん 榎田 篤弘さん 鈴木 雄三さん 押村 宣広さん 水谷 幸康さん 杉本 泰洋さん 加藤 直大さん
- ・昨日、血管年齢測定をしましたら、実年齢よりも20歳若い36歳でした。嬉しかったので、ニコさせて頂きました。 盛田 一行さん
- ・先日は社会奉仕事業(ひばり荘)へたくさんの方の参加ありがとうございました！また来年もお待ちしております！ 花井 芳太朗さん
- ・まさかの、イニシエーションスピーチ4ヶ月の延期になりました。今日は、熊本のことを伝えさせていただきます。 生川 昌樹さん

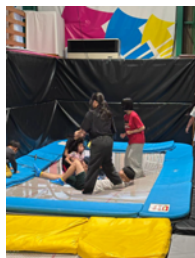
幹事報告

村上 学 幹事

- ・10/8(木) 第4回理事会 13:40～ 名古屋観光ホテル 2F「暁」(あかつき)
- ・10/15(木) 親睦例会「賀城園」 17:30～受付 18:00～例会 バスご乗車の方は、別途時間場所のご案内を致します。
- ・10/22(木) R規定により休会

地区補助金事業

2026.10.3(土)社会奉仕事業として地区補助金を利用し、乳児院・児童養護施設ひばり荘の子供たちと一緒にトランポリン及びBBQをし、楽しく一日を過ごしました。子供たちの笑顔を見ることが出来ました！



今日はお時間をいただきまして、熊本の災害ボランティアの体験報告をさせていただきます。かいつまんでお話ししますので全てはお伝えできないと思いますが、プロではなくボランティアの一人として行きましたので、かなり主観が入っていると思います。それも含めてお話しして、最後に質問がありましたらぜひ聞いていただきたいと思います。



7月末に熊本で地震が起きました。約1週間後に私たちは熊本に行かせていただきました。田んぼの画像ですが、熊本県宇城市の、断層がちょうど走っている場所で、本当はここは平らな畑だったんです。1.5メートルぐらいの高さの差があります。この前に国道も走っているんですが、ここも走れないぐらい隆起しているような状態で、アスファルトの舗装も砂利が抜けていたりとか、そういう状態になっています。宇城市の県議の方と熊本県議会の副議長の方に、地元でちょうど前日にお祭りをやっていたものですから、仲間からお祭りで募金をお預かりして、それをお届けさせていただきました。今回実は私と花井さんだけではなく、うちのスタッフと3人で行っていきまして、ちょうど最終日、最後の飛行機の3時間くらい前まで作業をしていて、一番大変な作業が終わった時のものです。

私どもは屋根に登ることは想定していませんでした。比較的古いお家で、普通のお家よりちょっと高く、1メートルぐらいの高さがある、その屋根に登らせていただいて。地震で瓦がバリバリに割れている状態なんです。落ちてしまっているものはいくらでも、落ちずに残ってしまっているものがある。ちょうど私たちがお邪魔した後に台風が近づいていまして、なんとかこれを下ろせないかと、80歳前後のご夫婦のご自宅からご依頼がありました。正直なかなかの高さがあったので、登るのは怖かったです。ヘルメットも準備せずに行ったものですから。でも断ることもできず、はしごはしっかり用意されていたので、3人で覚悟して登らせていただきました。

10年前にももちろん地震があって、その時にかなりの被害があったんですが、今回は南側の宇城市、八代市が大きな被害がありました。ブルーシートがかかっていて瓦が落ちているお家がたくさんでした。見た目は大丈夫そうなんですけど、中に入ると芯がずれているものがたくさんで、「全壊」という判断をされていて入れない状態です。でも自分の家だし、荷物を運ばなくちゃいけない、台風があるからどうしようということで、我々みたいなボランティアに頼んだという状況です。動画は、屋根の2階から生川さんが登って瓦を下ろしているところです。もちろん彼ははとび職でも何でもないんですけど、上手に投げていらっしゃいました。少し外れているだけでも落ちそうなので、全部やらなくちゃいけないくらい大変な状況でした。

家具が倒れてしまって、それを老夫婦ではどうにもならないという家がそこら中にあって、それを直す手もないと。ちょっとあたら来て、みたいな感じで手伝いに行きました。被災ゴミとプラス、家が片付いていない人たちがたくさんいらっしゃって、粗大ゴミの片付けもさせていただきました。よく分かったのは、女性は自分の物を捨てたくないで、「お母さん、これいの？いらなの？」「いる」という感じで、なかなか進まないということでした。実際に被災されている方々の家は、本当にガラスも飛び散っていますし、このような感じで作業をしました。

自衛隊の方々がたくさんいらっしゃっていて、お風呂が、僕らが行った前日ぐらいから入れられるようになって、自衛隊がお風呂を設営していました。やはり日本人だと思ったのは、朝、お水などをみんなきちんと並んでもらっていたことです。被災ゴミは、家の中から取り出すというんなゴミがあって、それをどのように片付けるかという、まだ交通整理ができていなくて、小学校のグラウンドに、車がある人は自分の車やトラックに荷物を運んで、先着順で持っていくですね。ただ荷物をまとめて出せばいいわけじゃなくて、木材とかガラスとか15ぐらいに分別をして出ていく。行っても5時間ぐらい待たされる、そんな状況でした。ここにもやはり日本人が足りなくて、外国人労働者の方もたくさん手伝っていただいていた。右上は名古屋市の上下水道局で、名古屋からもたくさんの方が手伝いに来ていらっしゃいました。右下は墓石です。地震で墓石は乗っているだけという状態が多かったで、ほとんどすべて落ちて、道路に飛び出している状態でした。それ以上にすごかったのは、まだ1週間経っていない状態で、北は千葉、茨城ぐらいから行政の方たちの車、パトカー、消防車が来ていたことで、ちょっと心打たれました。こんなに早く、こんな遠くから来ているんだ、というのは感じるものがありました。

倒壊した家がもうそこら中にありまして、帰る日には当たり前の光景になってしまったぐらいです。新築の新しい家でも、活断層の真下にあると家が完全に傾いてしまっている、というところばかりでした。赤い紙は、これを貼られるともう入れませんよ、ということです。保険を使うために必要なんですけども、市役所や町役場では朝9時から200人、300人の人が罹災証明を取るために並んでいらっしゃいました。少しのダメージでもみんな罹災証明が欲しいので、交通整理ができておらず、毎日大混乱、そんな状況でした。今回の断層は日奈久断層で、10年前の布田川断層と10キロぐらい重なっているんです。今の日奈久断層も残り10キロが活動していないので、その先には原子力発電所があるということで、止めてほしいという署名活動のような動きもありました。

延福寺の地割れは、よくテレビに出しましたが、結局はやっぱり活断層

の上に立っている建物は残らず倒れてしまうのは、仕方ない状況でした。Googleマップで見ると普通の、なんてことない道なんですけども、それがあがゆえに大惨事になっていました。八代神社の方も今回災害がすごくひどく、中の建物も2棟ほど全壊の状態、もう建物自体がなくなったりとかの状況。灯籠などもほとんどすべてのものが、と言ってもいいぐらい崩れている状態でした。建物が崩れた時に、たまたま八代神社の清掃の方が近くにいらっしゃったらしいんですが、まずいというので離れたら、後ろがごそごそ、ドンという状態で落ちたので、けが人は出なかったというふうになっております。宮司さんは、自分たちで直したくても神社は文化庁の管轄なので、文化庁の指示がないと触れられないとおっしゃっていました。だからやるのは掃除とか、瓦を拾ったりとかで。地元の方々が今、神社の復興の募金をされているそうです。

今後の課題です。インフラに関しては住居の再建とか地域経済なんですけども、一番、議員さんや地元の方の話で印象的だったのは、やはり下水ですね。物資はたくさん届くんす、水も、もう売るほどあると言ったくらい、物資はいくらでもあると。その代わり、生活排水、お風呂に入ったりとかの水が届かないし、それを捨てられないということで、下水を直したいんだけど、地元を受注させたいんだけど、結局、地元の企業じゃあまりの被害で間に合わなくて、彼らに任せたら1年かかってしまうからできないと。今度それが県の話になって、県でも対応できないから、結果、国が指定する大手のゼネコンさんが入って、地元の下水を今直しているような状況らしいです。仮設住宅とか避難場所にも行きましたが、本当にテレビのような状況で、大変過酷だなというふうに感じることもしかできませんでした。防犯・治安ですが、全国からの警察が、一ブロックに必ずいました。女性を狙った犯罪がやっぱり被災地ではあるみたいで、そのために、10年前の被災からの学びがあったらしく、全国からパトカー、警察の増員がかなり多かったです。

活動から得た学びです。初動の重要性、迅速な情報収集と的確な物資選定という部分ですが、物資自体は、最初の3日間ほどの飲み物、食品があれば、3日ほどで大体物は届くそうです。なので、それよりも本当に、水道、お風呂など体を拭くものだったりとか、トイレの水が流れないとか、そちらの方が現地の人の声は大きかったです。食料の調達ですが、大型スーパーはほとんど開いていなくて、スーパーやホームセンターは棚が高ければ高いほど全て崩れてしまっているんです。新しい家でも古い家でも、家の中自体がものすごくぐちゃぐちゃです。家はまだ、中を片付けば住める状態かもしれないんですが、家具という家具、建具が外れている場合とか、そういう状態です。比較的、コンビニや小さなドラッグストアは開いておりました。野菜などの生鮮品はなかなか手に入らなかったです。支援者の宿泊先ですが、僕は実はホテルに泊まらず、ワンボックスで車中泊で行く予定だったんですが、現地に着いて調べた宿泊施設もあったものですから、民宿のようなところに泊めていただきました。

名古屋での備えで特に思ったのは、やはり電気です。太陽光で充電できるポータブルの充電器がかなり活躍していて、あれは一つあったほうが良いなと思いました。地域連携で結構思ったのは、結局、市とか町内が各住民に話を聞きに行こうと思っても、誰がどこにいるか分からなくて、その時はやはり町内会長や自治会長が各家庭を訪問して、「生きてますか」「何が足りませんか」というようなことをずっとやっていました。なので、これから人口が減ってきて希薄な環境も生まれやすいんですけども、やはり小さいコミュニティというのはこういう時こそ役に立つんだということを体感しました。名古屋ですと、会社や団体で食料や電力ということもそうだし、家族でも、被災した時にどこで集合するかということももちろんそうだと思います。クラブの役割って何かなと言うと、ロータリーとして、広域ネットワークを生かした迅速な相互支援だったり、初動の対応、会員企業の安否確認ルールの徹底とか、リソースの共有。せっかくのご縁でロータリーに入っているの、いつ来るかわからない南海トラフの地震もありますので、備えをしていれば、それでも十分ではないんですけども、防災というより減災に対してやれることはまだまだあるなというふうに感じました。

(質疑応答)高層階に住まれている方がいらっしゃいます。結構大きな地震が起るとエレベーターが止まります、水道も止まります。これも議員さんから教えていただいたんですが、上に住まれている高齢者の方がこの時に大変だったと伺ったので、水分などは少し多めに用意しておいていただいた方がいいかなと思います。生川さんのインシエーションスピーチの代わりに、熊本ボランティアの体験報告をさせていただきました。ありがとうございました。

例会のご案内

- 今 週 10月15日 (木) 親睦例会 (夜間例会)
場 所: 賀城園 受付17:30~ 例会18:00~20:00
- 次 週 10月22日 (木) 休会 (R規定による)
- 次々週 10月29日 (木)
場 所: ヒルトン名古屋 5F「銀扇の間」 12:30~
卓 話: 米山奨学生 安 恩智さん